

## 「空手がつないでくれた家族の時間」

リペアワークス タナケン 代表 <sup>たなか</sup>田中 <sup>けんじ</sup>健司



住 所: 加古川市西神吉町中西160-4  
T E L: 080-3392-4243  
営業内容: 補修工事全般

我が家には男の子が三人います。妻と私を含め、家族五人全員で空手を習っています。通っているのは高砂市にあるスポーツ少年団の剛柔流の道場「浩然会」。最初は子どもたちの習い事として始めた空手でしたが、今では家族にとってかけがえのない時間になりました。

親子で一緒に取り組めるスポーツは意外と多くありません。仕事や学校など、それぞれの生活の中で、家族が同じ場所と同じことに向き合う時間はとても貴重だと感じています。

稽古では一緒に汗を流し、同じ目標に向かって努力します。子どもたちが一生懸命に練習している姿を見ると、親の私だけ弱音を吐くわけにはいきません。

空手の魅力は体を鍛えることだけではなくありません。道場では挨拶や礼儀をととても大切にしています。例えば、稽古の始まりと終わりに必ず礼をし、相手を敬う気持ちを学びます。こうした基本的な礼儀は、子どもたちがこれから社会に出ていくうえでも大切なことだと思っています。

また礼儀だけでなく、技の面でもさまざまな魅力があります。空手には「形（かた）」と「組手（くみて）」という2つの形式があります。形は、決められた動きをいかに忠実に再現するかが求められます。腕の角度や動きのスピード、強弱など細かな部分まで意識しながら、何度も反復練習を重ねます。一方の組手は、相手がいる競技です。反射神経や間合い、心理戦など瞬時の判断が必要となり、形とはまた違った面白さがあります。

そんな空手の稽古は、週4回あり、日曜日には大会が入ることもあります。仕事との両立は決して簡単ではありませんが、続けるうちに体も少しずつ柔らかくなりましたし、稽古の後には心も体もすっきりするので、良い気分転換になっています。

実は私たちの道場には、家族で空手を習っている方が多くいます。この道場はチャンピオンを育てることだけを目的にしているわけではなく、家族の絆や仲間とのつながりをとても大切にしています。BBQや懇親会などの交流の場もあり、学校や地域を越えたつながりが生まれるのも魅力の一つです。

以前、高砂の大会で「親子形」に出場し、準優勝することができました。親子で一つの形を何度も練習し、同じ舞台上に立てたことは、私たち家族にとって忘れられない思い出です。また、剛柔流の全国大会で沖繩へ行く機会もあり、空手を通じて家族で特別な時間を過ごすことができました。



家族で息を合わせた形の稽古

忙しい日々の中でも、家族が同じ目標に向かって努力できる時間はとても貴重です。これからも道場で流す汗の時間を大切にしながら、空手を通して家族の絆を深め、ともに成長していきたいと思っています。